

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会

所在地：「京急ニュータウン」バス終点 徒歩2分

住所 横浜市港南区日限山4-39-19 日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

大きい「新型コロナウイルス感染症」の影響

たまり場『こぶし』や日限山荘などの活動を中止しました

会員の皆様には個別にご連絡したとおりNPO総ぐるみ福祉の会では、「新型コロナウイルス感染症」予防のため3月中の「たまり場『こぶし』」、「日限山荘」、「医療講演会」などのすべての活動を中止いたしました。ちなみに当会が中止を自主的に決めた直後、日限山ケアプラザを通して

横浜市からも全ての行事を中止するようという通達が来ました。

なお、現在のところ四月からは再開の予定ですが、行政からの指導によっては再開が延期されることもあります。その場合、当会では利用者の皆様に改めてご連絡いたしますので、ご留意ください。

再開を望む声が多数寄せられています

「こぶし」や「日限山荘」活動の中止は当会にとっても初めての経験ですが、利用者の皆様から次のような多数のご感想やご意見をいただきました。

「この地区には、気軽に食事や会話を

楽しむ場所がほとんどないことに、今更ながら気がつきました」

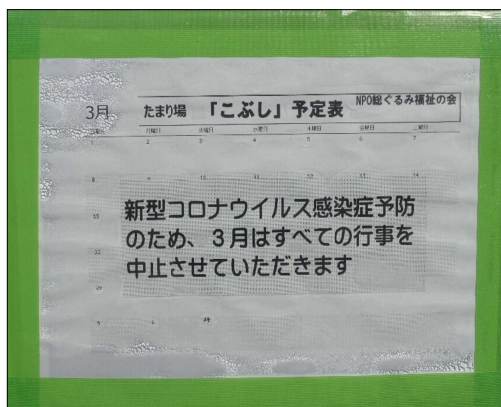
「家で一人で手芸をやっているが少しも楽しくないわ。早く以前のようみんなでわいわい言いながら趣味に没頭したい」

「ひとり暮らしの身にとって、他人と気軽に会話ができる環境が元気を保つのにどんなに大事かということがわかりました。早く再開してください」

「毎週火水金土の四日は、日限山荘とこぶしで昼食を楽しんでいましたが、それがなくなり、自炊に苦労しています」

「毎朝、散歩で日限山ハイツの前を通っていますが、賑やかな笑い声が聞こえていた1階の雨戸（注：『こぶし』会場のこと）上の写真が閉まっているのは寂しいですね」

「こぶしで知り合いになったKさんとコンビニでコーヒーをのみながら暫時歓談しました。あちらも手持無沙汰だったようで、話し相手欲しかったらしい。早く再開してほしいですね」などです。



お陰様で活動開始18年目を迎えました

地域の方々による地域のための介護事業所として誕生

今から18年前の平成14年3月10日、西洗・港南プラザ自治会館で「NPO総ぐるみ福祉の会」設立総会が開催されました。

当時はまだ珍しかったNPOとして神奈川県から正式に認定されたのは同年7月ですが、この設立総会開催が具体的な活動の第1歩として記録されています。



ちなみに発起人代表は増澤喜一郎氏（写真）で発起人のメンバーは18人となっています。

増澤さんを含め故人となられたメンバーが大勢いらっしゃいますが、全員が日限山いぶき会の主要メンバーであり、西洗自治会の役員を経験された方が多数を占めています。

遠い親戚より近くの他人

このときに掲げたNPO総ぐるみ福祉の会の理念が『「遠い親戚」に頼るのではなく地域に住む気心の知れた「近くの他人」同志が集まって、ボランティア精神で助け合いながら幸せな老後を送りたい…。そのためにできることを一緒に考え、みんなで力を合わせお互いに支え合って具体的な行動に移していく』

でした。

記録によれば、当時、西洗自治会や日限山いぶき会の間で、将来この地域が高齢化社会となることを危惧し、それに備えて具体的な構想や体制作りを考えようという機運が高まり、それを実現するシステムとして特定非営利活動法人（NPO）を創設し、そこで介護保険サービスの活用を目指すことにしたとあります。

「総ぐるみ」は「ここが違う

当会が誕生した経緯のあらましは右の通り。他の事業所とは異なり、当会が介護を必要とする方々のための「訪問介護」を主とする居宅サービス事業の枠を超え、西洗自治会や日限山いぶき会と協力しながら「こぶし」や「日限山荘」などをはじめとし、元気な方々も対象とした各種サービスの実現に取り組んでいるのも、こうした創設の理念に徹しているからです。

いよいよ四月、新しい年度を迎えます。当会は「地域が創った地域のための介護事業所」であることを再確認し、最高の介護サービスの実現に取り組んでいきます。介護のことなら、ぜひ当会にご相談ください。

「おとなのひな祭り」も中止

毎年、日限山いぶき会と共催で行う「おとなのひな祭り」。今年は3回目当たるので、何かテーマを付けて、高齢者の皆さんが心から懐かしい思い出になるように張り切って準備。

チラシを片手に「おひなさまを飾りたいから貸して下さい」とお願いしたところ「おとなのひな祭り」というイメージが定着していたせいか、思わぬ方々から「寝殿作り」「七段飾り」「八段飾り」「立ち雛」「刺繍の壁掛け」など「いいわよ。ぜひウチのおひな様を飾ってね」とたくさんのお申し出を受けました。

「たくさんのおひな様をどのように飾ろうかな」「お茶室も今まで通りでいいかしら」などと、楽しみでもあり苦しみでもあり毎日考えていたところ、突然「新型コロナウイルス感染症患者が何人も出た。感染症を蔓延させないため、人の集まる場所を避けること…」などというニュースが飛び込んできました。

すぐに日限山いぶき会の池上会長や西洗自治会の新見会長と相談して「おとなのひな祭り」も自治会と共催の「医療講演会」も中止することに決定。その直後に横浜市から全ての行事を中止するようという通達もあり、中止という判断は正解でしたが、残念でなりません。

おひな様の貸し出しにご協力いただいた方々に改めてお礼申し上げます。